

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(有)ケアシェルパ	代表者	佐鳥 均	法人・事業所の特徴	利用者様一人一人の人格を尊重し、住み慣れた地域での暮らしを継続することが出来るよう、地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、利用者様の心身の状況、希望及び置かれている環境を踏まえて、通いのサービス。訪問サービス及び宿泊サービスを柔軟に組み合わせることにより、地域での暮らしを支援します。
事業所名	小規模多機能ホーム あたがわ	管理者	小川 忍		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	11人	1人	人	人	人	14人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価、外部評価の内容を意識しながらサービスの向上に努める	前回の自己評価、外部評価をそれぞれ理解し業務にあたる事ができた	みんなよく頑張っていると思いますがなかには言葉使いなどもう少し気を付けた方が良いのではないかと思う方もいます	定期的に全体で自己評価外部評価を見直し話し合いの場を設ける
B. 事業所のしつらえ・環境	季節にあった装飾を行いながら限られたスペースを有効に使用できるように工夫していく	外には季節の花を植えたり室内は毎月季節に合った装飾をする事が出来たが限られたスペースを有効に活用する事が出来なかった	・毎月一回のアルバムで地域の方が来てくれたりするのがわかります ・ホームに行くことがないので鍵がかかっているかはわからない	プランターの花植えなどは選ぶ所から利用者様に参加していただき個別での作品を活用し展示後自宅に持って帰っていただく
C. 事業所と地域のかかわり	地域の人が集まれるようなイベント等を開催しホームを地域交流の場にしていく	イベントではないが移動販売を呼んだ事で地域の方も来てくれ交流の場となったが地域の方が集まれる様なイベントを行っても周知する事が出来なかった	・車椅子だとなかなか外出が難しいがホームで外に連れて行ってくれるので帰ってきた時に本人が嬉しそうに話をしてくれる ・移動販売がホームに来てくれ自分で選んで買い物ができ本人も喜んでいます	ホームを地域交流の場とするのに周知方法を確立していく
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	ボランティアの受け入れの継続と地域行事への積極的な参加をしていく	ボランティアの受け入れなどは積極的にしていた	・家とホームの行き来しかないので外の空気を吸いに外出させてほしい ・行事ごとに外に連れていってくださったりするので嬉しく思います	ニューサマーカフェなどに出向いたり地域の行事にも積極的に参加していく
E. 運営推進会議を活かした取組み	職員の参加や利用者様のご家族近所の方などに参加していただける様に案内していく	案内はしていたが日程が合わずなかなか参加して頂けなかった	日程が合わず参加出来ないが報告書には目を通して	推進会議を通してホームの事や認知症の方の理解をしていただけるようにしていく

F. 事業所の 防災・災害対策	年 2 回取り組む時にご家族や地域の方に案内をし参加していた できるように努める	予定が合わず家族の参加はなかつた	遠方に住んでいる為参加したことがないが本人はホームの防災訓練に参加しているので少しは安心している	警報や避難勧告が出た時に地域の方と協力し合い誰ひとり残さず避難できる為に近所の方にも訓練に参加していただけるように発信していく
--------------------	---	------------------	--	---